

バイオディーゼル燃料取組実態調査の概要 (平成20年度実績)

* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

* 調査対象期間

- ・平成20年4月1日～平成21年3月31日における実績
(調査時期:平成21年7～8月)

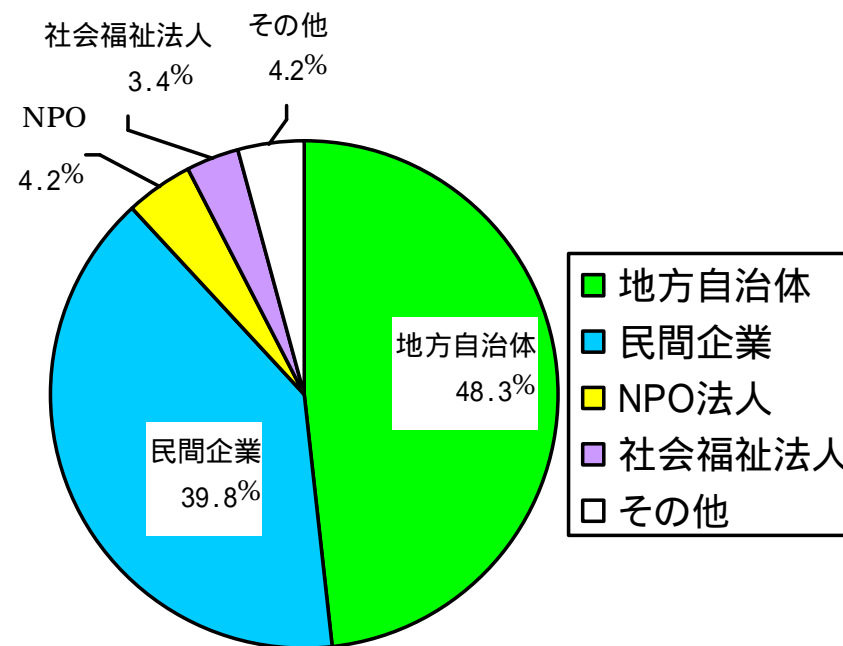
* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

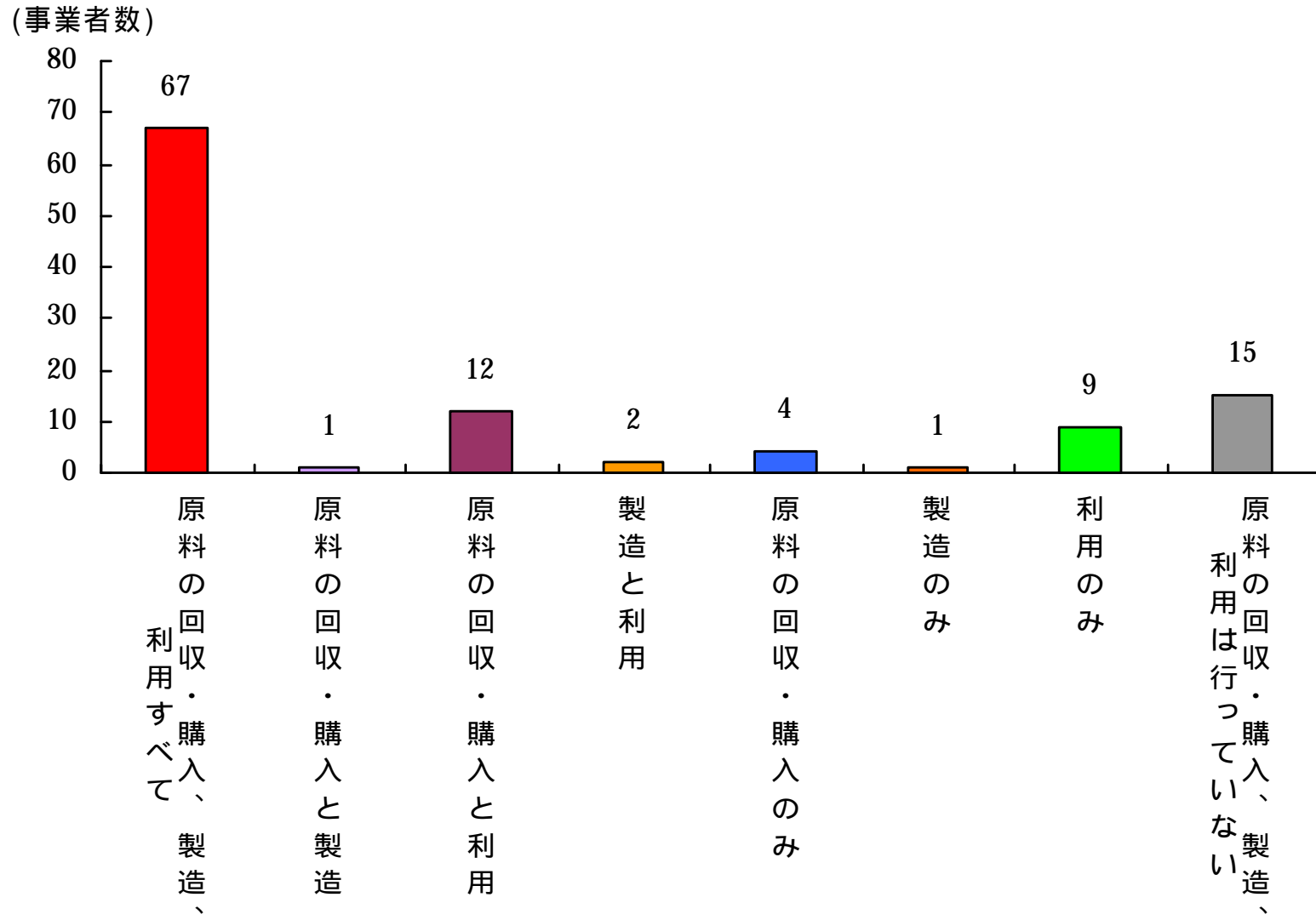
バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

平成20年度実績のある118事業者から回答があった。
(平成19年度の回答数は117)

組織	事業者数	割合 (%)
NPO法人	5	4.2
民間企業	47	39.8
地方自治体	57	48.3
社会福祉法人	4	3.4
その他	5	4.2
計	118	100.0

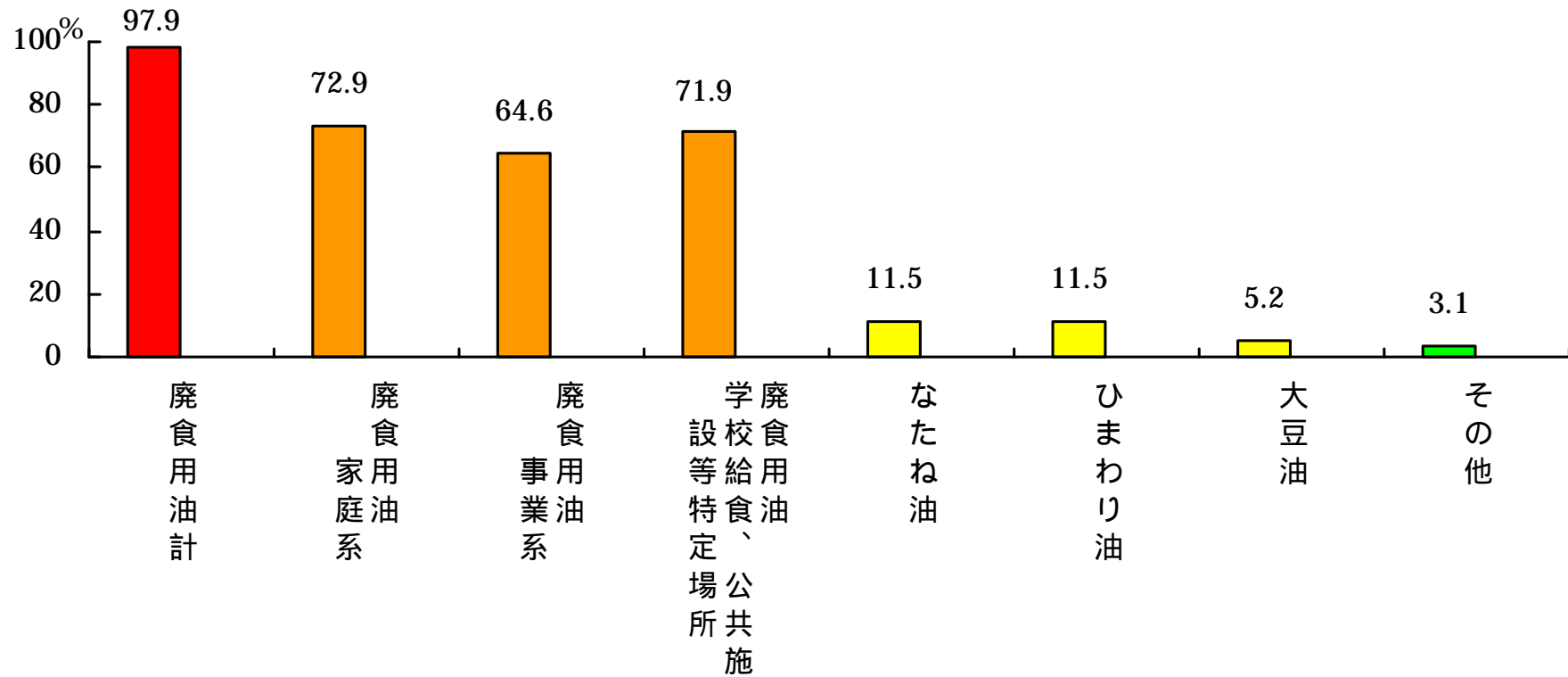


取組形態



バイオディーゼル燃料原料の種類

「廃食用油」の利用が圧倒的に多い(96事業者中94)。
前年度から原料調達先に大きな変動はみられない。



製造量と製造コスト

製造量：6,949 k (該当事業者66 / 平均105 k)

製造率：89.2% (該当事業者65 相加平均)

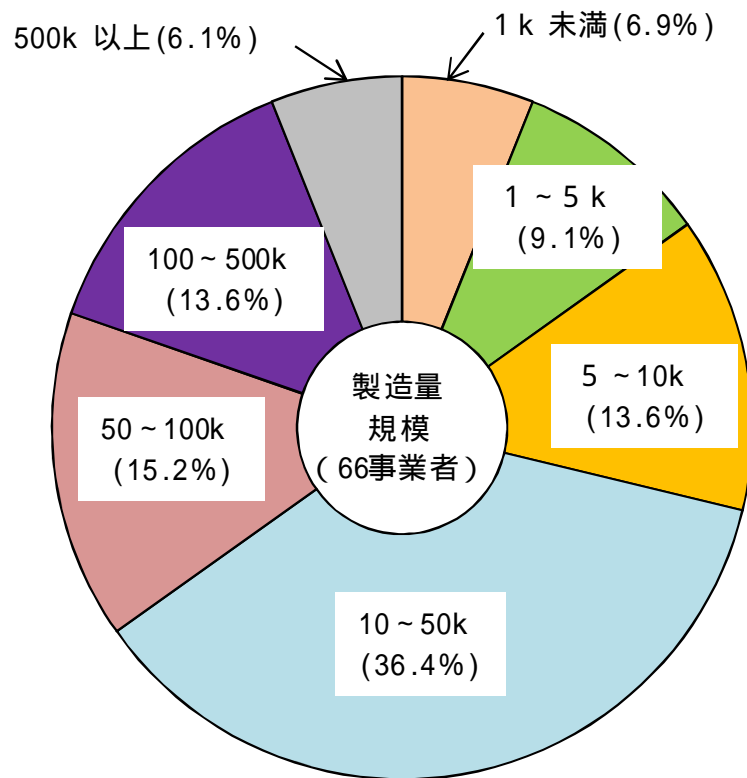
・原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

製造コスト：117.6円 / (回答56事業者平均))

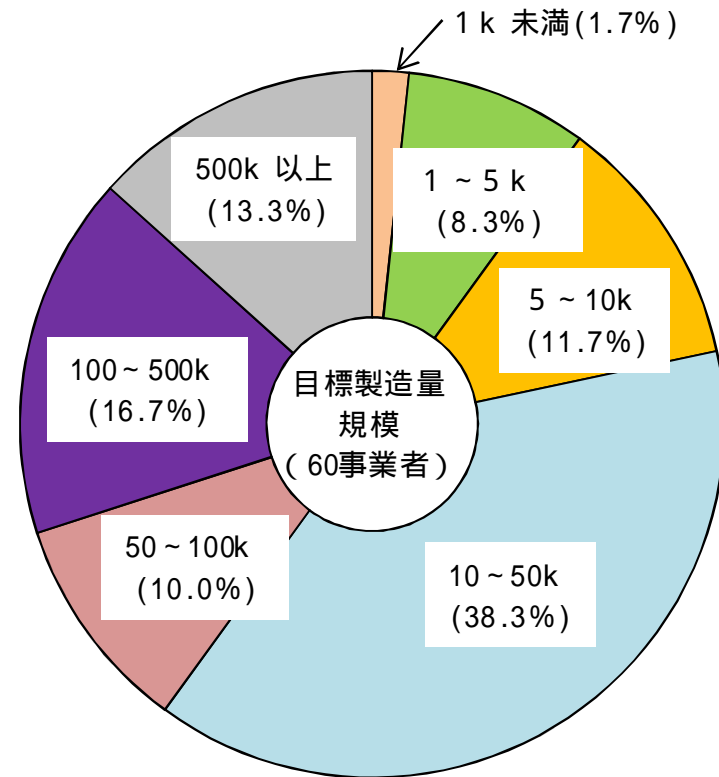
バイオディーゼル燃料製造量の規模(年間)

規模としては年間10～50kが多く、100kを超える中規模以上の事業者は目標に対して実績は少なめであった。

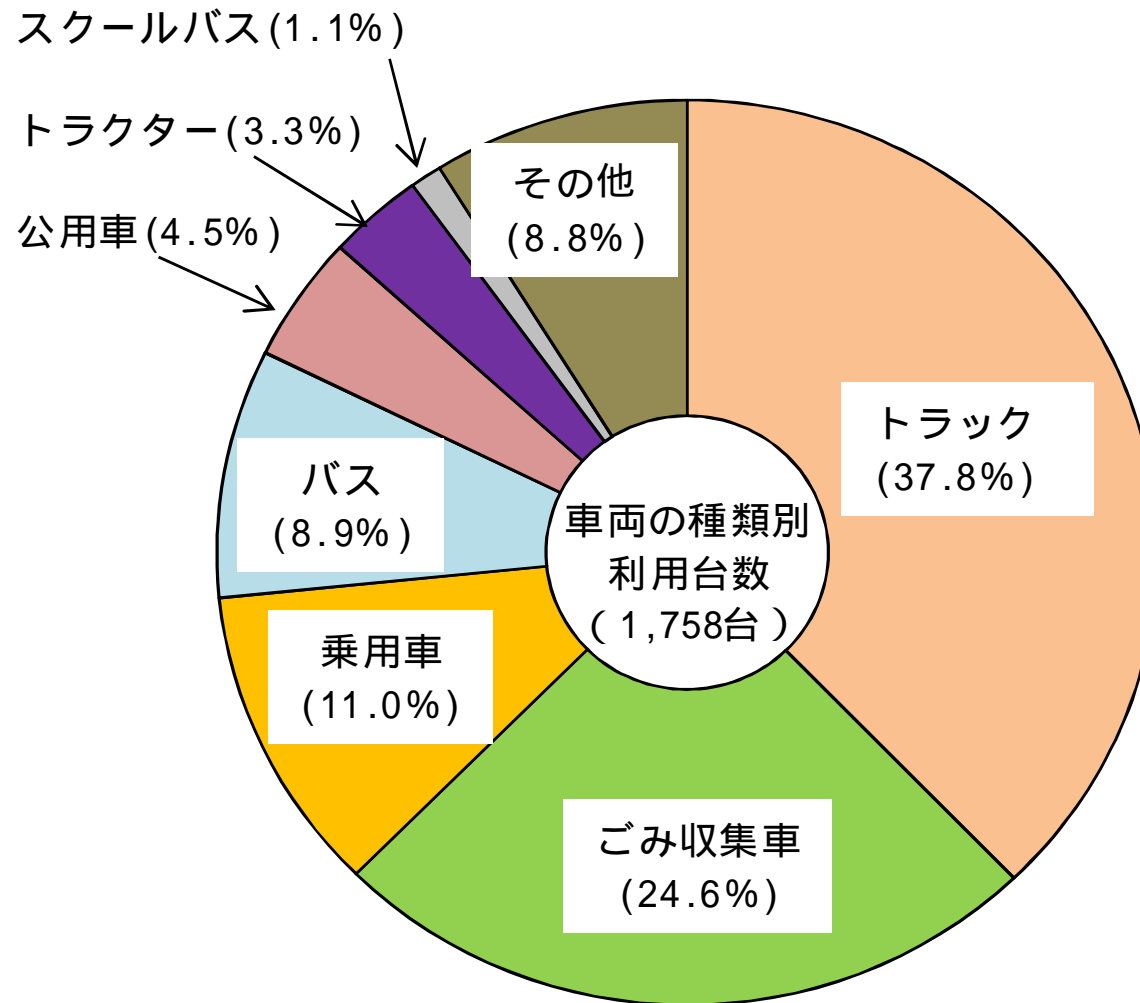
製造量(平成20年度実績/年間)



目標製造量(年間)



車両の種類別利用台数



協議会活動に対する要望

事業者からの要望

- ・税制の見直し
- ・燃料品質の確認(分析費用の軽減策など)
- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供や相談・コンサルティング

を挙げる事業者が多く、原料確保に関する要望も多かった。

